

CSRの多様な意義について解説する田村太郎
代表〓松江市白湯本町、スティックビル



び上がった。
また、自社にとってCSR
はどういう意味を持っている
かという質問では、「社会に存
在する企業として払うべきコ
ストである」が37・3%で最

も多かったが、「特に意味はな
い」という否定的な回答も7・
5%あった。
さらにCSRへの認識の乏
しさを露呈したのが個別回
答。本社が東京や大阪にある
企業の支店や営業所か
らは「CSRについては
本社に聞いてほしい」と
いう回答があったほか、
「社会貢献したいのはや
まやまだが、現在の経営
状況では無理」という中
小企業が多く、中には経
営の苦しさから怒りを
ぶつけてくる企業もあ
ったという。

CSRには本来▽収益を挙げ、税金を納めること▽雇用を創出すること▽法令を順守し、倫理的行動を取ることにといった多様な意味が含まれている。本社や支店に限らず、すべての事業所が積極的に取り組むべき内容だが、寄付や環境保護などの活動ばかりが注目されていることで、原田さんは「CSR〓社会貢献活動」と勘違いしている人が多いのではないかと分析する。

働きやすい環境づくり

CSRへの正しい理解を広
境面でのCSRを実践してい

長岡塗装店の取り組み

既に山陰地方でも、職場環境面でのCSRを実践してい

「CSR〓社会貢献」という誤った認識を払しょくし、まずは自らの会社で従業員の働きやすい環境を整えていくことが、「企業の社会責任」というCSR本来の意味の実現につながるようだ。

多くが社会貢献活動と勘違い

正しく理 松江商議所会員

講演に続き行われた意見交換会。会場には企業や行政関係者ら50人が駆けつけた〓松江市白湯本町、スティックビル



「企業の社会責任」という多様性認識されず

め、よりよい地域づくりに生かすため、同センターが先ごろ開いた講演会に講師として招かれたダイバーシティ研究所（大阪市）の田村太郎代表も、「社会貢献活動はCSRの一つだが、決してイコールではない」と強調する。

企業と市民のコミュニケーションを促す仕組みづくりに取り組む田村氏は、地球温暖化と並ぶ今後の社会の持続性

解されない「CSR」 企業にアンケート調査

CSRについてのアンケート結果

(一部のみ)

Q. CSRという言葉についての認識は

見聞きしたことがあり、大まかには知っている	44.6%
見聞きしたことはあるが、内容についてはあまり知らない	34.8%
知らなかった	17.0%
無回答	3.5%

Q. 自社にとってCSRはどういう意味を持っているか

特に意味はない	7.5%
利益が出た際の社会に対する利益還元である	21.8%
社会に存在する企業として払うべきコストである	37.3%
将来の利益を生み出す投資である	2.8%
経営の中核に位置付ける重要な課題である	19.0%
その他	3.5%
無回答	5.8%
無効	2.3%

※四捨五入のため、合計が100%にならない場合もある

CSRの主な取り組み

- ①収益を挙げ、税金を納めること
- ②株主やオーナーに配当すること
- ③よりよい製・商品、サービスを提供すること
- ④人体に有害な製・商品、サービスを提供しないこと
- ⑤新たな技術や知識を生み出すこと
- ⑥雇用を創出すること
- ⑦人権を尊重・保護すること
- ⑧法令を順守し、倫理的行動を取ることに
- ⑨フィランソロピー（寄付やボランティアなどの社会貢献のこと）やメセナ活動（社会貢献の一環として企業が行う芸術・文化への支援）を通じて、社会に貢献すること
- ⑩地球環境の保護に貢献すること
- ⑪所属する地域社会の発展に寄与すること
- ⑫世界各地の貧困や紛争の解決に貢献すること

※松江市市民活動センターが行ったアンケート項目から抜粋

山陰両県の企業の間でも普及しつつあるCSR。「Corporate Social Responsibility（コーポレート・ソーシャル・リスポンシビリティ）」の頭文字で「企業の社会責任」の意味だ。本来は雇用の創出やよりよい製品・サービスの提供など、すべての企業が社会に対し当たり前に行うべき取り組みを示すが、社会貢献活動ばかりクロージスアップされるためか、中小企業の間には「CSRは企業がやるもの」といった誤った認識が広がっているという。

◎松村健次

「CSRの内容を誤解している企業が、こんなに多いとは思わなかった」。7月中旬から1カ月間、松江商工会議所の会員企業1500社を対象に、CSRに関するアンケート調査を行った松江市市民活動センター（同市白湯本町）の原田陽子コーディネーターは、調査結果に驚きを隠さなかった。

勘違いの多いわけは

回答数は399社。CSRという言葉の認識については、「見聞きしたことがあり、大まかには知っている」が44・6%を占めた一方、「見聞きしたことはあるが、内容についてはあまり知らない」が34・8%、「知らなかった」が17・0%に達し、半数以上が内容を認識していない実態が浮か



長岡塗装店の取り組みを紹介する古志野純子氏。松江市白湯本町、スティックビル